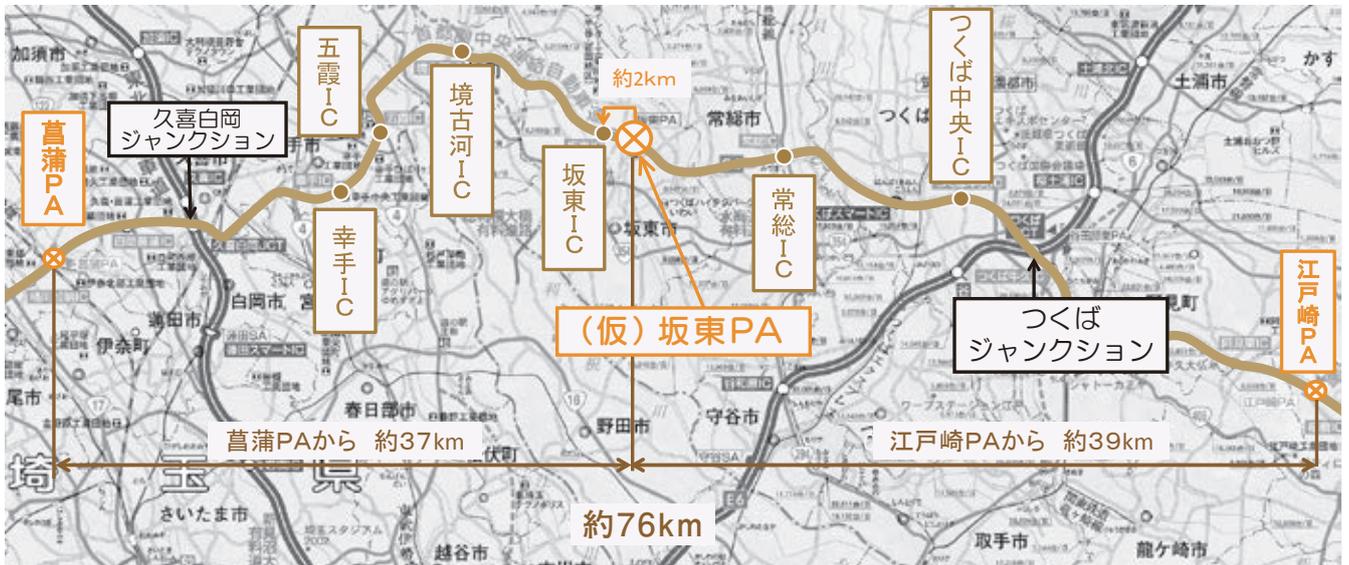


圏中央道(仮称)坂東パーキングエリア の状況について

圏中央道(仮称)坂東PA位置図



【パーキングエリアの位置関係】

久喜白岡JCT ～約30km～ 坂東PA ～約22km～ つくばJCT
 菖蒲PA ～約37km～ 坂東PA ～約39km～ 江戸崎PA
 (約76km 休憩施設なし)

11月19日 調整会議 記者発表資料より

首都圏中央連絡自動車道(圏中央道)は、埼玉県から茨城県の江戸崎パーキングエリアまでの約76km区間には休憩施設が無く、利用者からは、トイレ休憩ができないなど不満の声が上がっている状況にあります。

【これまでの経緯】

(仮称)坂東パーキングエリア(PA)は、平成22年度から国に対し、桜の里山(弓田地区)に整備を要望してきました。これを受けて国では、(仮称)坂東PAの設置に向けて準備を進めていきました。しかし、この要望場所は、旧岩井市時代の一般廃棄物処分場の跡地であったため、この場所に施設を設置するには市の責任において廃棄物の処分を行う必要があり、廃棄物をすべて撤去するに是非常に多額の費用がかかるということが明らか

になりました。このため、平成29年5月の臨時議会において、(仮称)坂東PAとの連結を目指して整備を検討していた「道の駅」について、整備の中止を求める決議が全会一致で可決されるなど、一般廃棄物処理場跡地に設置要望をしてきたことなどが原因で計画が頓挫し、(仮称)坂東PAの整備が遅れていました。

【早期設置の要望】

市は、圏中央道4車線化が具体化されたことにより、休憩施設の早期設置が必要となるため、また、市としても更なる交流とPR効果が期待できる(仮称)坂東PA設置は必要であると考え、廃棄物処分場跡地をできる限り避ける形での整備計画をお願いしてきました。

そして、本年6月19日、木村市長、桜井市議会議長が石井国土交通大臣に対し、(仮称)坂東PAの